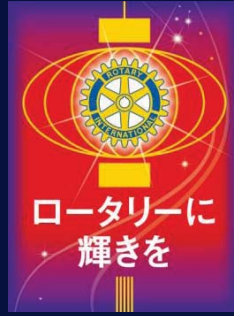


WEEKLY NEWS

2014-2015年度 《19号》

週報 通算 2117回



第2640地区

和歌山東南

ロータリークラブ

本日の例会

11月26日(水)
12:30~ 華月殿

- ・坂口会長 点鐘 ・ローターソング：我らの生業、リンゴの唄 ・出席報告(例会委員会)
- ・会長挨拶 ・幹事報告 ・ニコニコ箱(寄付金)報告 ・委員会・同好会報告
- ・行事 クラブフォーラム 青少年奉仕(東南育英会担当)委員会 卓話「少年野球の現況について」和歌山市軟式野球連盟学童部 東支部長 上野山 敏晴様
- ・坂口会長 閉会点鐘

先週例会報告 会場監督 赤在依美

ゲスト・ビジターはございません。

会長挨拶

坂口 和男 会長

前回の例会は紀三井寺さんでさせて頂き、前田貫長・副住職、そして奥村会員、何かとお世話になりありがとうございました。副住職には色々説明して頂き、国宝や重要文化財などを見学させて頂き感動しました。ありがとうございました。

昨日のニュースですが、高倉 健さんが亡くなったとの報道が一面に出ましたが、衆議院解散や消費税先送りの安部首相のニュースより大きく取り上げられていました。私達の世代は石原裕次郎・高倉 健の時代でした。ヒーローそしてアイドルでした。高倉健さんが亡くなった事は本当に残念です。



幹事報告

谷口 拓 幹事

- ①2014年10月25日(土)に開催されました 2014-2015年度地区大会 選挙人会議 議事録を各テーブルに1部ずつ置いておりますので、お目通しください。
- ②新クラブ RI 加盟認証のお知らせ「河内長野高野街道 RC」
加盟認証 2014年10月7日、スポンサークラブ:大阪千代田 RC、チャーターメンバー 21名。各テーブルに1部ずつ置いておりますので、お目通しください。
- ③2015年国際ロータリー年次大会(サンパウロ大会)参加旅行募集案内が、東日観光より届いております。ご覧になりたい方は事務局までお知らせください。
- ④那智勝浦 RC より創立 50周年記念誌が1冊届いておりますので、今から回覧いたします。
- ⑤リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2015 わかやま実行委員会より「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2015 わかやま《がんと向き合う2日間》」開催案内が届いております。
開催：2015年5月23日(土)12:00~24日(日)13:00、場所：和歌山公園砂の丸広場
- ⑥本日例会終了後、定例理事会を開催いたします。役員・理事の皆様、よろしくお願い致します。



45周年記念 BOX

中岡 隆文 会計

- 辻本君・寒くなりました。風邪が流行っているようです。お気を付けて。
- 稲葉君・ひさしぶりです。よろしく。
- 山口君・45周年記念 BOX へ。
- 竹中君・御無沙汰ですみません。元気です。
- 籠田君・IDM ご協力 ありがとうございました。
- 西口君・先日ゴルフコンペで、よいとび賞をもらいましたので。



出席報告

出席者 出席率

ニコニコ	米山記念奨学会	ローター財団	東南育英会	45周年記念BOX	紀南災害義援BOX
累計 1,174,058	162,000	137,000	26,000	391,200	0

会員総数	50名	11/19	34名	69.39%
出席免除会員	3名	11/5	40名	85.11%

坂口君・I DM各班長様、本日よろしくお願ひします。
 赤在君・津田リーダー I DM欠席で失礼いたしました。
 中谷君・皆様のおかげで、このたび主人が叙勲の榮に恵まれました。有難うございました。
 中岡君・本日、早退させていただきます。
 塩崎君・I DM A班残金です。
 山本(真)君・先日I DM F班の会費のお釣りで。皆様 御苦労様でした。
 ご結婚記念日お祝ひ・角谷君、保田君、奥村君、山本(唯)君、平君。



《委員会・同好会報告》

マージャン同好会 会長 溝落和作

第2回マージャン同好会を12月6日(土)受付12:00、競技開始13:00～、
 新和歌ロッジにて開催いたします。
 皆様のご参加、お待ち申し上げます。

I DM発表② ロータリー情報・規定委員会 テーマ「青少年奉仕活動に更なる関心を!!」

A班 リーダー 塩崎和仁 サブリーダー 赤井 誠



日時・場所：11月14日(金)、18時30分～ (ととや)
 出席者：神谷・津川・保田・山田(さ)・赤井・塩崎

現状の奉仕事業

- ①東南育英会から、向陽高校の生徒6人に奨学金。
- ②東支部学童軟式野球大会の開会式・決勝の観戦・表彰式・閉会式に参加。
- ③虎伏学園の、クリスマス会・夏祭りに参加。

今後の奉仕事業

- ①東支部学童軟式野球の忘年会
 (会長・委員長のみ参加しています。多くの会員にも参加をして頂きたい)
- ②45周年の時に、軟式野球チームの方から要望のありました草刈り機を寄贈。
- ③虎伏学園・旭学園と、ボウリング大会・芋ほり大会を行う。

B班 リーダー 宇治田堅三 サブリーダー 鯨 拓也



日時・場所：11月11日(火)18:30～21:00、みむら

参加者：青木、市川、鯨、竹中、平、谷口、吉田会員(ゲスト)、宇治田の8名

青少年は国家の資産であり、その育成は国家百年の計であります。このような大問題を酒を飲みながら語るのは不謹慎とは思いますが、与えられたテーマでありますので、私たちロータリアンが行っている青少年奉仕活動について和歌山東南ロータリークラブの人に限って話会いました。

まず、東南育英会ですが全員が継続に賛成。特に最近は奨学生が例会場で生の声を聞かせてくれるので奉仕している実感がします。もっと手厚い奉仕活動を考えても良いのではないかとの意見もありました。

次に学童野球の支援についてであります。楽しみにしている子どもがいるので継続すべきだという意見と開会式と閉会式のみに参加してお金を出すだけで、子どもたちと何のふれあいもないままで続けていくのが、はたして意味があるのか。45周年に一つの区切りとして考え直してみても、という意見もありました。

子どもシェルターへの資金援助の募金成果が現在のところ少額に推移し、さびしい限りです。

不幸な境遇から子どもを救う奉仕活動で協力すべきである。との意見の一致を見ました

最後にロータリーの標語の一つ《Every Rotarian An Example To Youth》「各ロータリアンは青少年の模範」になるように努力しましょう。ということで会を終了しました。

C班 リーダー 西口昭一 サブリーダー 寺下能明



日時 11月14日(金)18:30～、場所は江戸三座

参加者は、有本さん、釜中さん、楠本さん、小林さん、和田さん、寺下さん、西口の7名です。

テーマ「青少年奉仕活動に更なる関心を」という事で話し合いを行いました。

現状、東支部学童野球の後援は長く続けていますのでしっかり継続していく事は良い事だと思います。そして有名な野球選手又は野球関係の有名人に来てもらって野球教室を開いてはどうでしょうか。これは、なかなか難しいと思いますので、協力してもらえらる高校があれば、子供たちを指導してもらおうという事はどうですか。教える事、教えられる事でお互いに勉強になる事もあると思うのですが。

それと東南育英会についてですが、予算の都合もあると思いますが、今は6名ですが3名程追加して9名にしてはどうでしょうか。

今後という事では、災害がおきて子供たちが困った時に使えるように、積立金をするという事はどうですか。今後の話はあまり出なかったのですが、現状行なっている事で子供たちとしっかり接して、要望や要求があれば、出切るだけそれに答えていくという事が良いのではないですか、という事で終わりました。

D班 リーダー 鯉坂恒夫 サブリーダー 中曾真二郎(発表者)



11月7日(金)「ととや」にて開催、4名参加

「青少年奉仕活動に更なる関心を！！」

・向陽高校奨学生は、対象学生が報告に来てくれることでうまくまわっていると思われます。(というのは前回「地域社会への貢献」の報告にも含まれていました。)

・ほんとうに困っている青少年を支援することが必要です。その点で、留学生支援が妥当かどうかは検証し直してみるべきでしょう。

家計急変が起こりやすい世の中ですので、そのような事態に直面した青少年を一時的に救援できれば効果は大きいのではないのでしょうか。

- ・どのようにそのような対象者を探すかですが、学校との連携により情報を収集できるはずですが、とくに授業料負担の大きい大学生について、大学では常にそのような学生の事情を把握しており、救援要請することは可能です。

E班 リーダー 津田泰孝 サブリーダー 稲葉敏彦



11月7日(金)6時30分、「月宮陣」(田中町)にて角谷会員、吉田会員、前田会員、津田の4名に青木会員様にも参加して頂き、5名にてE班、IDMを開催しました。立派な食事に、ビール、日本酒、焼酎、とアルコールの入った楽しい会となり、忌憚ない意見が出ました。

今回のテーマは「青少年奉仕活動に更なる関心を！！」となっています。

和歌山東南ロータリーは45周年を迎えますが、この事を区切りに新しい事業と古い事業について考えなければなりません。古い事業については、改善、改革、修正、しなければなりません。

又、新しい奉仕活動では新世代の青少年にプラスとなる事業計画が必要です。

古い事業について考えられることは、学童野球の支援事業では毎年自動的に継続されていますが、やはり計画期間を決めて期限毎に見直すのが必要ではないのでしょうか。他クラブでも1年限りとか2年、3年、5年等の期間付きで支援事業の取り組みを支援先と話し合っていると聞きます。

計画期間で良い結果の得られた事業については継続支援をすればいいし、そうでない場合はその年で中止すれば出来ると思います。自動的に継続していると止めようと思ってもその年に中止することは受け入れ側としても戸惑うことになりせっかくの支援事業にひびが入ります。

東南育英会の向陽高校奨学生に対する奨学金支給に対しても自動的に支給されているようで期限付きではないようですが、やはり支給時には期限を明確にした方がいいのではないのでしょうか。

又、奨学金支給等の事業計画には学校に関係した仕事をしている会員に加わっていただき知恵を貸していただくことが賢明ではないかとの提案もありました。

他にいくつかの話題もありましたが主要な案件は以上であったと取りまとめて報告致しました。



日時・場所：11月14日(金)、三八波

出席者：太田、郷間、坂口、南、島本、土屋、山口会員とメイクアップで籠田会員、山本の9名

テーマ「青少年奉仕活動に更なる関心を」

このことについてまず現状の問題を提議していただきました。

1. 現状、奉仕活動はおもに資金援助のみとなりがちである。
 2. 彼ら本人達と実際にコミュニケーションがとれていない。
 3. また、奉仕活動の経過がわかりにくい。
- 以上のことがあげられたわけですが、その解決方法として次の意見がでました。

1. これは地区でなければいけないと思いますが、ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)の復活。私自身もライラの活動を聞き非常に感銘を受けました。
2. 会員全員が意識して青少年奉仕活動の参加することはもちろんであります。例えば、フレッシュ会員さんに少年野球や東南育英会などを見学してもらい関心をもってもらおう。
3. 来る45周年を機にこの青少年奉仕活動がなにより継続できる企画を立案する。
このような解決方法の意見を頂戴しました。

最後になりましたが、このIDMで知ったことですが、今から8年前のことです。私の息子が小倉少年野球チームで優勝したことがありました。その大会主催がなんと我が東南ロータリーだったことです。今またあらためて今回のテーマを問われますと、実に8年前ご奉仕して頂いた野球大会、その時の息子や他のチーム選手達が野球をとうして、肉体的にも精神的にも成長させてもらったとはまちがいありません。その子どもたちも今年成人します。今度はあの時の選手や父兄が次世代の青少年育成に恩返し、そのサイクルが恒久的につづく様つとめて行きたいと思えます。

《 総 評 》 ロータリー情報・規定委員会 籠田 弘委員長



会員の皆様、ご多忙の中IDMに積極的にご協力いただき有難うございました。各班のリーダーの方々ご苦労さまでした。

当クラブとしての現状活動について

- 1：東南育英会
- 2：学童野球への支援

(反省と今後への提言)

- 1) 向陽高校の学生が例会に出席。直接話し合える機会を持てることは奉仕している実感があり賛成
- 2) 援助対象者を増やしてはどうか？
- 3) 奉仕活動は資金援助のみになりがちだが この点はどうか？
- 4) 奉仕活動の経過が判りにくい
- 5) 45周年を迎え今一度古い事業と新しい事業について検討してみても如何
例(自動的に支援継続から期限の設定へ)
- 6) RYLAへの参加 (地区で復活時)
- 7) 家庭内事情が急変した学生への緊急支援体制作り (学校側との連携による情報収集)
- 8) 支援対象者とのコミュニケーションが取れていないのでは？

(その他)

- 1) 子供シェルターへの資金援助積極的をお願いしたい
- 2) 山本(真)会員の息子さんが支援対象の学童野球チームで活躍、肉体的にも精神的にも成長させて貰ったとの体験談は奉仕活動の成果と思えます

真剣なご討議有難うございました。

今後のクラブ活動の参考にして頂けるように関係各位に連絡致します。